

「第10回SDGs学生小論文アワード」受賞論文決定

～"「オープンイノベーション」で社会課題を解決するには"をテーマに5本が受賞～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、「第10回SDGs学生小論文アワード」by 住友理工の最終審査会を実施し、2賞計5本の受賞論文を決定しましたのでお知らせいたします。審査委員長には昨年同様、高村ゆかり氏（東京大学 未来ビジョン研究センター教授）を迎え、厳正な選考・審査を経て、決定したものです。

募集テーマは、「「オープンイノベーション」で社会課題を解決するには」。複雑化した社会課題を解決するためには、企業1社のノウハウや技術だけでは限界があります。他企業や自治体、大学、NPO等と連携する「オープンイノベーション」が重要です。では、社会課題の解決と事業の収益性を両立するためには、どのような視点でオープンイノベーションに取り組めばよいのでしょうか。今後の社会、環境、経済の変化を踏まえて、学生ならではの独自の視点で具体的な方法を提案していただきました。

大賞（最優秀賞と同格）※は、儘田咲さん、庄野花衣さん、永瀬翔大さん（いずれも明治大学）の「プロデューサーシップで推進する地域のオープンイノベーション」と、岩永薫さん（東京大学大学院）の「『いえそだて』リビングラボ：市民との共創の『場』で実現する、市民主体型建築ストックマネジメント」の2本が選ばれました（各賞受賞者一覧参照）。

なお、当社の経営 Vision「2029年 住友理工グループ Vision」の方向性の1つである「未来を開拓する人・仲間づくり」を強化して取り組んでいくために、後日、受賞者と審査委員、当社社長を含めた役員と意見交換の場を設ける予定です。

当社グループは、今回ご応募いただきました学生の皆さまの新鮮な意見を事業運営に生かし、今後も未来を担う若者の育成に貢献する活動を推進してまいります。

※ 今回、最優秀賞相当と評価した論文が2本となったため、同格の大賞として決定させていただきました。

「第10回SDGs学生小論文アワード」by住友理工 各賞受賞者一覧 (敬称略)

氏名・学校・研究科/学部	論文タイトル
大賞 (最優秀賞と同格) (賞金 75 万円)	
儒田咲 庄野花衣 永瀬翔大 明治大学 政治経済学部	プロデューサーシップで推進する地域のオープンイノベーション
岩永薫 東京大学大学院 工学系研究科	「いえそだて」リビングラボ：市民との共創の「場」で実現する、市民主体型建築ストックマネジメント
優秀賞 (賞金 10 万円)	
山口彩花 石井翔 阿部ひなた 明治大学 政治経済学部	「思いやり」からはじまるオープンイノベーションと地域創生
塚原彩未 田中悠翔 北爪絢子 共愛学園前橋国際大学 国際社会学部	ごみから生まれる未来～食品ロスを材料に～
矢口興 掛橋秀太 竹川陽翔 日本大学 商学部	フランチャイズ農業への展望

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
 tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>